



パワスポハイキング奇行

1

トライアルバージョン

赤城山

柿本 源命

パワスポハイキング奇行（1）

赤城山

はじめに	3
パワスポハイキング奇行?!	4
なぜ赤城山?	7
赤城山、登山のススメ	7
いざ出発!その前に	9
登山計画を立てる	9
ビギナーおススメ登山コース	12
パワスポハイキング奇行コース	14
装備を整える	15
赤城山レポート	18
参拝のマナー	32
参拝方法のまとめ	32
あとがき	35

はじめに

この度は『パワスポハイキング奇行（1） 赤城山』をご購読いただき誠にありがとうございます。

二〇二〇年五月現在、中国より発症した新型コロナウイルスが世界中に猛威を振るい、この日本でさえも大きな打撃を受けています。

そして同年四月より緊急事態宣言により外出自粛状態が継続しております。いわゆる「三密」対象外と思われていた登山でさえも自粛要請が出ております。そんな暗い社会情勢の中でも、少しでも元氣付けたいという想いで本書を発行いたしました。

ただ、今回は今までの電子書籍と違い写真を多く載せてあります。これは筆者にとつて初の試みであり、電子書籍において正確に表示されるかどうかの確認も含め、今後の改良を検討するための出版となります。是非ともご意見をお聞かせいただければ幸甚に思います。

柿本 源命

パワスポハイキング奇行?!

唐突ですけど、ボクの趣味は登山です。

何だかんだ言って、ハイキングを始めたのは五年くらい前、泊りがけで時にはテントを担いで入山するまでになってから三年くらいです。

せわしない日常生活から離れて自然浴は実に気持ちがいいです。

登山はリフレッシュに最高のレジャーだと今の処思っています。

日本には山岳信仰というものがありまして、そもそも山とは自然的な地形ではなく、神々の住まう所という認識があったようです。

そこで修験者さんが入山して修行を積み、神々と触れ合い、一体化するといったようなことが行われていたみたいです。

すなわち、登山とは修行だったようです。

そして、今でこそ登山愛好家が「山開き」を心待ちにしていますが、この「山開き」とやらは「安心して登山ができる季節的な解禁日」という、今日的な意味とは異にしていたようです。

先述の通り、山は修行の場であって一般人には進入禁止の聖域という認識だったという事になります。

だから、「山開き」とは「一定期間だけど、聖域に入っていいよ」という意味になるんですね。

だから、山に入るときは山の神様に「お邪魔いたします」と敬意をもって挨拶してから登山を開始します。

さて、ボクのもう一つの趣味は神社仏閣巡りです。

かれこれ二〇年以上の趣味だと思えます。

高校生の修学旅行で、定番の京都へ行ったときは仏像のカッコよさ、そんな概念あるのか？神社仏閣の建造美に圧倒されました。

偉大な先人の信仰心の精神がここに詰まっている！

そう思うと永い時間かけて現存する歴史的意義に敬意を抱かざるを得ません。

そして、ボクは御多分に漏れず精神面が非常に弱いので、神頼み・神仏に頼りたくなる時が多々あり、その都度参拝します。

また、何らかの決意をしたときは、そのアフターメーションといいますが意思表示のために神社仏閣に参拝します。

参拝する時は御朱印もいただくことにしているのですが、特に仏閣へ参拝する時は般若心経の写経を奉納するくらいに入れ込みようです。

そもそも、御朱印は納経しました、という信仰心の証のようです。

前置きが長くなりました。

登山をしていると気が付くことがあります。

結構な確率で頂上には神社仏閣といいますが、祠が鎮座している！

それはすなわち、登山と参拝は不可分ではないか、ということになります。

そこでボクが提唱するパワスポハイキングとは次のことになります。

一、信仰の対象であった山岳には敬意をもって登ること

一、本来的な修行はハードル高いので、俄かプチ修行として旧修験道を歩いてみる

こんな感じのゆるい基準で登山とパワスポット巡りを同時にしちゃいましょう、とい

うコンセプトです。

要は「登山を通してパワースポットを巡る」ということです。今日の登山とは、あくまでもレジャーです。

一般的なレジャーとして、頂上を目指す登山はアリです。

自然浴、特に高山植物を楽しむ目的の登山は実に楽しいです。

一方、ひたすらピークハントとして三角点を目指すのもアリです。

タイムアタックとして、できる限り早い時間で登るのもアリだと思います。

登山は人それぞれの楽しみ方があります。「そんな山の登り方、邪道だ」という方がおられるかもしれませんが、でも、基本的に山は自然そのもの、誰のものでもありません。楽しみ方は人それぞれで、どれも正解だと思えます。

極端な事をいえば、登山者の数だけ楽しみ方があるはずですよ。

パワスポハイキングは先述の様に、ボクの提唱する登山の楽しみ方の一つだと思っております。

こんな感じで一般的な登山の楽しみ方とはちよつと違う、という意味で「奇行」になるわけですね。

そんなワケで、本書の提唱するパワスポハイキング奇行を是非とも参考に、こんな登山の形もあるのかと思っただければさいわいに思う次第です。

なぜ赤城山？

赤城山、登山のススメ

赤城山は群馬県でいう上毛三山の盟主的な存在です。

ちよつとだけ女癖が悪いのは珠に瑕だけど、伝説的なカリスマ登山家・深田久弥は日本百名山に選定しています。

この赤城山はいくつも点在する山頂ピークの総称、いわば連峰をひつくるめて「赤城山」といいます。

いくつも点在する山頂を一カ所または数カ所を自動車で回って登ることが、赤城山登山において一般的な登山の楽しみ方のようです。

そして山頂一つ一つの登山道はとも丁寧に整備されていて、初心者に気軽に登れる優しいコースとなっています。

ボク自身「登山を始めたいと考えているけど、初心者におススメな有名所の山を教えてください」と聞かれたら迷わず「赤城山！」と回答します。

躑躅の名所で一般的に初夏がハイキングに最適といわれます。ただ、躑躅が咲く前の春先は新緑が実に気持ちがいい。

夏には森林浴としても楽しめます。秋にはもちろん紅葉が楽しめます。

ついでにいうと、冬季でさえも装備品を調えさえすれば気軽に登れる山です。その山頂を断片的に登るのも一つの楽しみですが、できる限り縦走縦走したい！

それが後述する「パワスポハイキング奇行コース」です。

春夏秋冬を問わず、気軽に登れるビギナーにオススメな山ということで。パワスポハイキング奇行シリーズ第一弾として紹介していきたいと思う次第です。

今回は、あえてハードルが高いと思われる雪山シーズンをご紹介したく思います。

雪の銀世界と空の蒼さ、雪山を楽しむ醍醐味はこのシンプルな風景である、とボクは考えています。このシンプルな風景、ヤミツキになりますよ。

ただ、雪山は一步間違えば事故につながりかねない大きなリスクが伴います。

ある程度スキルが磨かれると、そのリスクも正確な判断を連続的に求められてスリルとして味わうこともできます。これも雪山の楽しみの一つでして、ヤミツキになる理由の一つだと思います。

繰り返しますが、赤城山は冬季でさえも装備品を調整すれば初心者でも登れます。

だから雪山を登ってみたいけどリスクが怖い、というビギナーの背中を後押しするにうつつけない山なんです。赤城山は。

是非ともこの山で技術と経験を積んで、次第にレベルアップして登山の楽しさを体験していただければと思います。

いざ出発！その前に

ボクは登山が好きだけど、学生時代は山岳部ではなかったし、今に至るまで山岳会に所属したことはありません。

身も蓋もないお話ですが、ボクの登山方法は自己流です。

だからボクがこれから説明することは、専門家から言わせれば「間違っている」と言わざるを得ないかと思われます。

とはいえ、この我流を貫いて今の処、事故を起こしたことはありません。

だからあながち間違っていない、と勝手に思い込んでいます。

そういう意味でも「奇行」といえなくもなと思います。

さて、登山をしたくてウズウズしておられるかと思いますが、前準備としてやらなければならぬことがあります。

それは登山計画です。

登山計画の立て方はボクの我流として次節よりご紹介します。

登山計画を立てる

登山計画は次の二点を決めることにあります。

一、登山コースを決める

二、時間を決める

この二点を検討して、自分のレベルにあっているかどうかをモノスゴくよく考える。大丈夫という自信があったら、いざ実行！……という運びになります。

登山計画書でこれらのことを記入するのが便利です。

登山計画書はネット上でたくさん公開されています。また、山岳警備隊の活動が盛んな某県警でも公開されています。

慣れないウチはそれらのデータで登山計画を立てることをお勧めします。そこで一点だけ強く意識して欲しいことがあります。

「標高が高いほど難易度が高いというわけではない」

一般的に標高が高いが難易度が高いという認識にある傾向の様です。それを裏付けるのは次の質問ではないでしょうか。

「富士山には登ったことあるの？」

ボク自身、数えきれないくらいこの質問をされたことがあります。

「登山好き」を告知すると、登山についてよく知らない方、もしくは興味があるけど踏み出せない方はかなりの確率でこの質問をしてきます。

富士山は日本一標高の高い山だから、登るのも日本一難しいに違いない……という好奇心から尋ねられるかと思えます。

富士山は登山経験のある保護者同伴であれば小学生でも登れます。登山者が多い分それだけ登山道は安全面を考慮して、小学生レベルの体力でも登れるように整備されています。

話がズレました。話を元に戻ります。

低山でも遭難事故が起きます。遭難すると周りに多大な迷惑を掛けます。

捜索が大変です。所轄警察署の山岳警備隊が出勤しなければなりません。山岳会などのボランティアも捜索に当たる場合があります。

周辺山小屋に連絡中継をお願いすることもあります。

遭難をすると様々な方々に負担が重くのしかかります。

費用もたくさんかかります。

ヘリコプターを呼ぶだけで二〇二〇年付近現在では大体二百万円かかる、なんて俗諺があります。

当然、その費用を負担しなければならぬのが責任です。

ではなぜ「遭難するのか」という問題が生じます。

「登山計画を立てられないからです」

身も蓋もありませんがこの原因が第一となります。登山計画を立てずに入山する方が実に多い。登山計画を立てたことないけど遭難したことはない、という剛の者がおられるかと思えます。それは運がいいだけです。いつか遭難します。

「登山計画は入山前に必ず検討する」

この習慣付けは身に付けてください。

そして登山計画を立てるには必ず身に付けなければならないスキルがあります。

「登山地図を読めるようにする」

登山愛好家の中で、登山地図が読めない方と結構な確率でお会いすることがあります。

道中で道を尋ねられて、地図を開いて説明をします。

「ごめんなさい、地図の見方、わかりません」

こんな返答には絶句します。

最近では、登山アプリケーションが充実していてGPS機能が付いています。携帯端末を開けば、ご自身がどこに所在するのかすぐにわかるようになっていくようです。

でも、これに頼り切るのは危険です。

携帯端末で本来的な機能である電話をしたり、写真を撮影したり、動画を撮ったり……これらの便利すぎる機能を登山中に行われます。これらの機能を使いすぎるとバッテリー切れを起こします。

するとこれらの便利な機能が使えなくなり、ますます「アクシデントはいつ起こるか判りません。それに対応する実力を備えなければなりません。」

アナログと馬鹿にするなかれ。

登山に必要なスキルは色々ありますが「地図を読めるようにする」というスキルは「基本のき」となります。

ビギナーおススメ登山コース

赤城山登山においておススメ登山コースをお伝えします。

先述の様に赤城山はいくつもの山が連なっています。それだけ、登れる山がたくさんある、ということの裏返しになるわけです。

その中でも最高峰の黒檜山コースを登られることをお勧めします。

黒檜山頂上から五分くらい歩いた展望所で、赤城山連峰の次登る箇所を確認することがよいと思いますし、次登りたい山を探すのもよいです。

初心者でありながらいきなり最高峰に登ってしまう体験ができる、これも赤城山の魅力の一つだと思います。

さて、黒檜山コースについてご説明いたします。

次に述べる時間は昭文社より出版されている「山と高原地図 赤城・皇海・筑波」に準拠します。

黒檜山登山口から約九五分で頂上。

頂上から展望所へ往復一〇分。

黒檜山頂上から赤城駒ヶ岳へ四五分。

赤城駒ヶ岳から登山口へ四五分。

合計一九五分の活動時間に休憩時間を考慮しても、三時間三〇分または余裕をもって四時間程度となります。

反対に赤城駒ヶ岳經由から黒檜山を目指すコースも検討できます。

赤城駒ヶ岳登山口から赤城駒ヶ岳頂上へ七〇分。

赤城駒ヶ岳から黒檜大明神まで五五分。

黒檜大明神から黒檜山頂上まで一〇分。

黒檜山頂上から展望所へ往復一〇分。

黒檜山頂上から黒檜山登山口へ七五分。

合計二二〇分の活動時間に休憩時間を考慮して、四時間四〇分から五時間くらいとなります。

いずれにせよ概ね半日超で気軽に山旅が楽しめます。余った時間は温泉浴を楽しむことができます。

登山道も整備されているので、余程のことがない限り遭難することは考えづらいです。

とはいえ、登山地図を持たない、ということとは危険です。

むしろ、この山で地図を読めるようにスキルを磨くことをオススメします。

パワスポハイキング奇行コース

本書のコンセプトである「パワスポハイキング奇行」について、再度コンセプトを確認したいと思います。

一、信仰の対象であった山岳には敬意をもって登ること

一、本来的な修行はハードル高いので、俄かプチ修行として旧修験道を歩いてみる

この二点からの結論は「登山を通してパワースポットを巡る」ということです。

最初に謝っておきます。

すみません、赤城山に修験道があるかどうか、確認してもよく判りませんでした。

第一弾からこんな為体ていらくなので幸先が悪い、悪い。

代替措置(?)として今回のパワスポハイキングコースの概要をお伝えしたいと思います。

黒檜山登山口から出発 (二〇分) ↓ 赤城神社参拝 (二〇分) ↓ 大沼散策 (二〇分)
↓ 地蔵岳登山口 (六〇分) ↓ 地蔵岳 (二〇分) ↓ 八丁峠 (二〇分)
↓ 小沼スノーハイク (二〇分) ↓ 長七郎山 (二五分) ↓ 小地蔵岳 (四〇分)
↓ 鳥居峠 (二〇分) ↓ 覚満淵 (三〇分) ↓ 赤城駒ヶ岳登山口 (五〇分)
↓ 赤城駒ヶ岳 (五五分) ↓ 黒檜大明神 (一〇分) 黒檜山 (一〇分)
↓ 黒檜山展望所 (八〇分) ↓ (下山) ↓ 黒檜山登山口 (二〇分) ↓ 赤城神社参拝

以上の行程が、赤城山パワスポハイキング奇行コースとなります。合計五一〇分、約八時間三〇分となります。

ただし、行程のみなので休憩時間も考慮しなければなりません。

お昼休憩に一時間、一時間ごとの五分休憩を七回くらい考慮しなければなりません。

したがって一時間四〇分前後の時間も加算して考慮しなければなりません。

合計約一〇時間一〇分の行程を覚悟しなければなりません。なかなかの苦行かと思われ
ます。もちろん、初心者はおススメしません。中級者以上向き。気軽じゃないというツツ
コミは覚悟しています。それは先述のコースで十分にトレーニングを積んでください。

装備を整える

「装備品を揃えるのって、モノスゴく高いんでしょ？」

ボクが登山愛好者である、と聞いて「登山に興味あるけど、始めたくても何をしていいかわからない」という方からこのような質問をよく受け付けます。

スポーツ用具全般にいえることですが、登山もまた装備品を始め専門的な道具はモノスゴく高価です。

しかし、別にプロフェッショナルを目指すわけではないので、入門時点では難易度の低い山をハイキングするわけですから、装備品も凝ったモノを用意する必要はありません。

使うかどうかわからない装備品や道具を購入することは、ハッキリ言ってムダです。メーカーを応援しているから寄付のつもりで購入する、という方以外は手を出すべきじゃないと考えます。

本書のコンセプトは「ハイキングとパワースポット巡りを同時に行う」というコンセプト

トです。初心者の入門として揃えるべき装備品は最低限、他は既にお持ちのモノで代用できるかと思えます。

では初心者が揃えるべき装備品はナニかというと、次の三点に要約されます。

一、登山靴

二、雨具

三、ザック

重要度の順に並べてあります。

これらの登山ツールは、登山愛好者だけでなく専門家さえも口を揃えて初心者へ入門品として「用意すべきモノ」として列挙しています。

つまり「定説」なんですね。

本書もそのお作法に従います……というより、奇行が多いと批判をよく受けるボクも経験上でこの三点に拘るべきだと考えます。

これらの装備品は買って終わり、使って終わりでは寿命を縮めます。

利用する度にメンテナンスをしましょう。

一、汚れをふき取る

一、防水スプレーをかける

一、干す

これで充分です。防水スプレーは登山専用とかウレタン製またはシリコン製などなど甲乙反駁していますが、ボクはこの三段階適当メンテナンスで困ったことはありません。

これら三種の神器に加え、いざ登山に持って行くべきは概ね次の通りです。

一、飲料水、行動食、非常食を含む食糧

一、着替え

初心者のウチはこれで充分です。

着替えを含み登山ウェアは代替が利くので登山専用品にこだわる必要はない、というのが持論です。登山において、速乾性の衣類を着用することが基本です。変な話、すでにお持ちのスポーツウェアやジャージでも良いくらいです。

ただし、綿製品は絶対に避けてください。衣類が湿っていると地味に体温を奪われて、それが蓄積されると低体温症などで行動不能になる可能性があります。

あとは登山を繰り返すうちに、他の登山者の持っているもので「便利そうだな」と思ったモノ、登山スタイルに必要なモノを買い足していけばよいかと思えます。

「仕事は見て覚えると同じように、登山も他の手練れのスキルを盗んで覚える」

結論はこうなります。

延々とまじめな話を書き綴ってきました。ボケている箇所がないので退屈かもしれませぬね。それでは次章より、いよいよ赤城山登山レポートをしていきたいと思えます。

赤城山レポート

コンディション 二〇二〇年二月二十九日 晴れ 気温2℃

「山が呼んでいる」

山を愛する者ならば、この感覚が判るようになるようだ。

数日前から、雨が降ったり止んだり不安定な天候が続いていた。自宅より見える雪化粧した赤城山がそうボクに囁ささやいているように思えた。

「雪化粧したから、登りにいらつしやい」

更に赤城山の神様が語りかけているように感じた。

二〇二〇年の冬は暖かい日が続いて「暖冬」だった。たとえば、スキー場は雪不足で悲鳴を上げていた。二月中旬という厳冬期に長野中部で雨が降るといふこともあり、地球温暖化を感じざるを得ない。

そして二月下旬。先述の様に、下界では雨が降ったり止んだり不安定な日々が続いた。

でも、これは今シーズン最後の雪山を楽しめるチャンスかもしれない。

そう期待に胸を膨らませ、天候の様子を伺いながら休日を調整していた。

ボクは登山が好きだ。

そして、人それぞれの山の楽しみ方がある。

山はだれのものではない。色んな人と出会い、出会った人の分だけ楽しみ方を教えてもらえる。

ボクは登山を非日常を体験する場、だと思っている。

あくまでもレジャーの手段だと割り切っている。

働き盛りの年代なので、忙しい日常を過ごしている。休日を利用しての登山は日常から解放される、リフレッシュの方法として最高の方法だと思っている。

そして登った山は一回登って終わりではない。

登山道はいくつも整備されているから、様々なコースを楽しめる。そして春夏秋冬で違った表情も楽しめる。条件の組み合わせ次第で、一つの山を何パターンも楽しめる。

何回も登りなれた山だけど、雪化粧をしたその美しい姿は「山が呼んでいる」という直感に従って、ボクは旅支度をするのであった。

.....

「初心者向けにウンチク垂れ流していたクセに、いきなり雪山かい!!」

いえいえ、怒らないでください。こういう楽しみ方もあるというご紹介です。赤城山の積雪期登山はさほどハードルが高くないと読み取っていただければさいわいです。

これから真夏（発行当時二〇二〇年五月）へ向かおうとしているのに雪山かい!!

是非とも夏山シーズンでこのコースを先ず体験してください。そして、来シーズンのお楽しみに、ということでご紹介です。



○八…○○

黒檜山登山口駐車場に到着。

昨年末、雲取山で年越しをしました。

本当は鳳凰山を計画していたのですけど。

少しずつレベルを上げて、今年は○○○メートル級後半の場所で過ごしてみたい…そう思っていたのですが。

年末、予想以上に仕事を立て込んでトレニングを積む機会を逸してしまいました。極め付けに寝込んでしまったという苦い思い出があります。

安全性を考えて登りなれた雲取山で過ごしました。そして諸事情により登山する機会に恵まれず、とうとうこの日まで雪山を登る機会に恵まれずにいました。

約二か月ぶり。しかも時期的には間もなくオフシーズン。しかも二〇二〇年は暖冬ということもあり、微妙だなと思いつつ。あんまり期待はしていなかったけども。

現金なもので、駐車場に着いたらテンションアゲアゲ。コンディションは最高だと思います。



○八・三〇

赤城神社到着。

今回の山旅安全祈願をします。

個人的に鎮座する神社にお参りすることは神様に
対するマナーだと思っています。

もっというとうと、出来る限り自分の足で登って奥宮
までご挨拶することもお宮様に対する礼儀だと思い
込んでいます。

さてこの赤城神社。

群馬県では上毛三山と呼ばれる赤城山・榛名山・
妙義山の信仰があつたらしく、その盟主的な立場。

縁起は様々な説があるし、定説がいまいちしつこ
りこない。

日本全国に鎮座する赤城神社の総鎮守ということ
は確かなので、春夏秋は観光客で賑わいます。



○八・五五

地藏岳登山口に到着。

夏場でも急坂に感じるのので、雪山では更に急になります。

もちろん、ここからチェンソープイクまたは軽アイゼンは必須。一〇本爪以上のアイゼンを装着する人もいます。そこは好みかな…と…と思います。

総じて壮年期くらいまでの体力があればチェンソープイクで充分な山だと思います。

あとはスキル次第かな…なんて思います。身も蓋もありませんが。



○九・四○

地蔵岳山頂に到着。

登山口からだいたい一時間くらいで登れます。

ね？楽勝でしょう？

地蔵岳からは南関東平野を見渡せるし、大沼や赤城山最高峰の黒檜山を眺めることができます。

雪山はハードル高い、と思われませんがビギナーでも充分楽しめる場所はそれなりにありますよ。

ただ、ボクの場合はまだ物足りないので、もうちよつと歩きたいと思います。



小沼と長七郎山の分岐点。
水門があるので、よっぽどアレな方でない限り見落とすことはないと思います。
……つてかね、仮に見落としていたらレベルとしたらヤバイです、悪い意味で。
その場合は引き返すことをおススメします。それはさて置き。
ここからの気色もなかなか良いと思います。
スノーシューズやワカンを履いて、雪原歩きというのも楽しいかもしれません。



一〇・四〇

長七郎山頂上に到着。

地藏岳と同じく南関東平野を見渡せます。

要は、ここも絶景つてことです。

四組くらいのパーティーとすれ違ったかな。

頂上標識に踏み跡がたくさんあるので、それ

なりに人気ということを物語ります。



一・二〇

鳥居峠。

かつてロープウェイがあったらしい。

たしか、夏場はレストランが経営していた
ようなウツスらとした記憶があります。

お地藏さまが鎮座しているのでご挨拶。

これからも無事の登山ができますように。
たとえビギナー向けとしても油断してはい
けませんよ。



一一・三〇

鳥居峠から覚満淵に突入。

夏場に来た時は、この池の周りを歩いて花々がきれいで楽しかった記憶があります。

最近は鹿の食害が酷くて植生保護のため柵や網が設けられています。

最近アニマルトラッキングが登山の楽しみの一環となっているせいなのでしょうか。

動物の足跡を見るのが楽しく思います。さて、ここは覚満淵。

タヌキやキツネの足跡はたくさん見かけたけど、シカの足跡は一回も見ただことはない!!!

……というのはナイショですよ？



一二・三〇

赤城駒ヶ岳頂上に到着。

どうでもいいトリビア（死語）だけど、「駒ヶ岳」とは日本一多い山の名前なようですね。

そういやあ、伝説的な登山家・深田久弥が選定した日本百名山でも会津駒ヶ岳、越後駒ヶ岳、甲斐駒ヶ岳、木曾駒ヶ岳……だったっけ？

四座もあります。

さて、ここまでくると赤城山周遊もあと残す黒檜山のみ。

サクサク行きましよ、サクサクと。



一三・二五

黒檜山到着。

基本、自分を写真に残すのはあんまり好きではない。頂上にいた登山者のご厚意により写真ももらいました。

ありがとうございます。

写真の通り、そんなに重装備でないことがお分かりかと思えます。

ニット帽にネックウオーマー、ソフトシェル、防寒手袋、ゲイター、トレッキングポール、そしてチェーンスパイク程度。

先述の装備品に加え、赤城山の雪山登山に必要な装備品はそんなにハードル高いものでない、と感じていただければ幸いです。

赤城山周遊の旅はこれで完了。
あとは降るだけ。



黒檜山頂上から歩いて五分程度の地点に展望所
があります。

長野&新潟方面の山々が見渡せて絶景です。

もちろん雪山ならではの美しい風景を眺めるこ
とができます。

レベルを上げてどこの山を登ろうか、なんて密
かな野心を抱くのもいいかもしれません。

そんなわけで、個人的にはランチタイムはここ、
と思っています。



一五・四〇

下山完了。

無事下山できたので、感謝の意を込めて再度、赤城神社にお参り。

楽しい登山をありがとうございます。

また来年、来ますのでよろしくお願ひします。

参拝のマナー

最後に参拝について触れたいと思います。

突然ですが右の行為は正しいのでしょうか。

寺院で二礼二拍一礼をする

聖地に参拝する敬虔な信仰心を持たれる方には敬意を抱きます。我々日本人の長所にして短所といえますか、宗教に対して寛容であることが参拝の作法に影響を及ぼしているようですね。

実をいいますと二礼二拍一礼は神社の作法であって、寺院の作法ではないのです。作法はその人成りを表します。つまり無教養であることを曝け出しているのです。格好悪いので改めることをおススメします。

本書は「登山を通してパワースポット巡りをする」ということがコンセプトなので、専門的な参拝の方法や作法は埒外となります。

ですので、サラッと表面的な参拝方法を確認していただければと思います。

出雲大社では二礼二拍一礼ではない？

そんなん、知らんがな。

参拝方法のまとめ

神社と寺院では共通する作法がありますが、ほんのちよつとの違いが神社仏閣への敬意の度合いが違うハズです。対外的には「できる人は違う」という印象が付くかもしれません、たぶん。

神社参拝のお作法

- ・鳥居前に一揖し、参道を進む
- ・参道は中央を外して進む
- ・手水舎で左手・右手・口内、そして柄杓の柄を清める
- ・拝殿前で身なりを整え一揖する
- ・お賽銭を納める
- ・鈴を鳴らす
- ・二礼二拍一礼
- ・帰り際、鳥居を出て向き直り一揖する

寺院参拝のお作法

- ・山門前に一揖し山道を進む
- ・山道は中央を外して進む
- ・手水舎で左手・右手・口内そして柄杓の柄を清める
- ・線香を捧げる
- ・本堂前で身なりを整え一礼する
- ・お賽銭を納める
- ・鐘又は鯛口を一度鳴らす
- ・一礼合掌一礼
- ・帰り際、山門を出て向き直り一揖する

お作法はしっかりと基本を習得して、マナーよく素直な気持ちで参拝していただければと思います。

以上は基本型です。参拝場所によつてお作法が違う場合がありますので、それに従いましょう。「郷に入りては郷に従え」です。

昇殿参拝とかエクストリームなお参り作法もありますが、こちらは本書で割愛します。……と申しますのも、気軽に御行儀のよい参拝ということが本書の目的なので趣旨から外れるからです。

気になる方はそれ系のガイド本やネット情報がゴロゴロしているのでご参照ください。

ボクは神社仏閣へ定期的に参拝しています。日ごろ業務に真剣に向かい合つて疲れた心身をリセットするためにと考えています。神社仏閣といった聖地へ赴くことで気持ちをリフレッシュできると思っています。心を洗いなお参りしています。そういった私事に神社仏閣にお付き合ひ頂いているからこそ、マナーを守つて謙虚な気持ちで詣で参ることが真摯な態度だと信じています。

あとがき

登山と神社仏閣巡りを同時に行うネタを形にしてみたい……そんな動機で始まった「パワスポハイキング奇行」、いかがだったでしょうか。

初心者でも気軽に楽しめる、というコンセプトを掲げているながら実際にレポートしたコースは長距離かつ雪山という、対象としている初心者が面喰うような内容となっています。悪ふざけもいい処です。

しかもブログ感覚のはなし言葉文体でツラツラと語ってきました。つまり、やっていることはブログの延長です。

この計画は何年も前に考えていました。しかし、写真を多く載せたいと思っていたけど電子書籍ファイルに変換するソフトがその機能がありません。ボクは電子書籍を作成する時は某有名ワープロソフトで原稿を書いて変換ソフトで電子書籍へコンバートしていました。

どこかで別のワープロソフトが電子書籍ファイルへ変換できると聞きかじって早速購入してみました。ところが、操作をゼロから学び直さなければならぬ面倒くささにウンザリして、この計画を投げてしまったのですね。こんな生来の怠け者氣質が禍し「パワスポハイキング奇行」計画は眠り姫状態が永く続いていました。ようやく、電子書籍ファイルへコンバート可能なワープロソフトを使うに至ったので、実験的な出版となります。

二〇二〇年五月現在、武漢ウィルスが猛威を振るい外出自粛状態となっています。自分を守るため、大切な人を守るため、そして一日も早い終息のために一人一人が感染を広げ

ない努力が必要です。放浪癖があるボク自身もグツとこらえて、好きな登山や神社仏閣巡りを控えています。

本書でおススメしていることをウィルス騒動終息の暁に試してみたい、と思われる読者の方が一人でもいらつしやればさいわいに思います。

世界中を苦しめているウィルス騒動は必ず終息します。その時まで今はグツとガマンをする時です。我慢に我慢を重ねた後の解放感はずっと感動的だと思います。

今ガマンを重ねた後の世界はずっと明るい。

そんな頭の中お花畑でポジティブにいきましょう。

どこか、ハイキング中にお会いできる奇跡を楽しみにしております。

二〇二〇年五月

柿本 源命

柿本源命

ポッコツ登山愛好家。思い付き登山の常習者。

技術はポッコツ。

計画はいろいろ加減。

基本的に夏&冬関係なく単独登山。

それでも、今の処事故ゼロ。

某登山アプリを利用しているので、見かけたら友達登録は大歓迎。

ブログ <https://ameblo.jp/genmei-kakimoto/>

メールアドレス info@genmei.net

パワスポハイキング奇行（1） 赤城山

二〇二〇年五月五日 初版発行

著者 .. 柿本 源命

発行者 .. 陽明堂

Copyright©2020 Genmei Kakimoto All rights reserved.

柿本源命著作

テキトーはんにゃ心経

くシロートがガンバって手探り解説してみましたく

尉繚子雑訳テキトー解釈

人事を尽くせ！占いなんか信じるな！！

オトナの老子 寝る前におよみください

妙だなあ、変だなあ

チャライ呉子

ろまんていつくツンデレ孟子たん

あれえ、変だなあ

手取川合戦

げんごろう「異聞甲陽軍鑑」

平ノ貞盛 卷ノ壱 坂東動乱編

平ノ貞盛 卷ノ弐 天慶大乱編

平ノ貞盛 卷ノ参 新皇君臨編